

みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡県清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

～年頭のご挨拶～

清水港湾事務所長 佐々木 純

新年最初の「みなとしみず」の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

日頃より当事務所の業務にご理解、ご協力、ご指導いただき誠にありがとうございます。

本年は、我が国経済の再生、東日本大震災を踏まえた防災力向上が引き続き緊急の課題であり、当事務所として、日本経済を支える港湾物流基盤の整備、ハード・ソフトの防災対策や港の保安確保に取り組み、安心して活力ある日本づくりを目指します。

事務所開設から92年目となる本年も、職員一同、地域の皆様との連携により、より良い国づくり、地域づくり、港づくりに取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

田子の浦地区連合自治会による「浚渫工事」の現場見学が開催されました

平成24年12月15日(土)に田子の浦地区連合自治会会長はじめ区長の皆様方等総勢17名が田子の浦港浚渫工事を見学されました。

当日はあいにくの雨のため陸上のみのお見学となりましたが、屋内において田子の浦港に関する事業概要や浚渫工事を詳しく紹介したパネル等を見ながらの質疑応答に積極的に質問される等、理解を深められていました。特に地元の産業等にも詳しい方が多いため、「チップ船が9月から来なくなりましたが、外航船等の入出港状況はどうなったのか。国として地元の産業を支援する手法は検討しているのか。」といった専門的な質問や指摘等、案内者がたじろぐ内容もあり、浚渫工事のみの議論だけでなく地域の心配や将来のこと等、様々な話題で活発な場となりました。

浚渫土砂を中間処理する陸上施設の視察においては、「こういうプラントだったのか」「巨大な施設を作って何をやっているか分からなかったがやっと分かった」といった意見が多く、工事への理解を深めていただけました。

また、浚渫工事において港内の濁度等を測定していますが、近年の計測値では濃度は非常に低く、過去に濃度が高かった港自体はどんどんきれいになっているとの話題も上がり、地域の発展や田子の浦港の振興とともに港がきれいなイメージが変わってくれば、と願って円満に見学会を終えることができました。



事業概要の説明状況



陸上施設の見学状況

「旬な現場」に“ときわ愛補会”と“知立建設協議会”が来られました

中部地方整備局では、今年度から「旬な現場」として一般の現場見学受け入れをHP上で公表しております。この取組みに対して、清水港からも“新興津地区第2岸壁”の工事現場を挙げておりましたが、昨年は2組から応募がありました。

一組目は「ときわ愛補会（平成24年11月6日）」愛知県OB主体で構成された会だそうで、現在も補償コンサルタント等で活躍されているとのこと。残念ながら、前日の雨で現場には入れませんでしたが、第1岸壁の荷役を見学して皆感心しておりました。

二組目は「知立建設協議会（平成24年12月17日）」愛知県と6市により構成された会です。「清水港の概要も教えて欲しい」との要望でしたので港内視察を併せて実施しました。行政者ということもあり、こちらは“色彩計画”に質問が集中しました。

清水港の「旬な現場」は1月をもって終わりますが、清水港湾事務所はこれからも“元気な清水港”を発信して参ります。



「ときわ愛補会」の見学状況



「知立建設協議会」の見学状況

「中部地区路面電車サミットin清水」で清水港が視察されました

平成25年1月19日（土）に「第11回中部地区路面電車サミットin清水」が開催されました。特に“路面電車オープンサミット”では、“清水のまちとLRT”をテーマにした報告や提言などが行われ、LRT導入の気運が高まりました。

そして、翌20日には“LRT導入”におけるエクスカージョンの一環として、清水港の視察も行われました。当日は絶好の視察日和となり、佐々木所長より清水港における「みなと色彩計画の取り組み」や「産業観光としての魅力」などが紹介されました。

LRTという新たな公共交通が導入されれば、地域の魅力が大幅にアップするだけでなく、清水港が持っている本来の魅力も広く発信されていくに違いありません。当事務所がこのような取組みに協力できたことは嬉しい限りです。

清水港湾事務所はこれからも地域活性化に貢献していきたいと考えております。



新興津第2岸壁の視察状況



港内視察を終えて

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）

☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

白崎・高木 TEL 054-352-4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp